



銀行開業  
150周年

# カーボンニュートラルの実現に向けた 銀行界の取り組み

2024年3月11日



一般社団法人  
全国銀行協会

1

カーボンニュートラルの実現に向けた全銀協の取り組み

2

みずほフィナンシャルグループの気候変動対応への取り組み

# 全銀協のGXに向けた取組み – 全銀協イニシアティブ –

## 銀行界としてのミッション

社会経済全体の2050年カーボンニュートラル／ネットゼロへの「公正な移行」(Just Transition)を支え、実現する

## 全銀協の基本方針

お客さまの移行支援に向けた会員各行の取組みを、業界団体として後押し、さらに加速させていくための基本方針

① 金融・社会インフラ  
としての役割発揮

② 産業界との連携

③ 政府・関係省庁  
への提言

④ 国際的な議論  
への参画

## 重点取組分野

全銀協として重点的に取組みを行う分野

① エンゲージメント  
の充実・円滑化

② 評価軸・基準  
の整理

③ サステナブル・ファイ  
ナンスの裾野拡大

④ 開示の充実

⑤ 気候変動リスク  
への対応

## 今年度取り組んだこと

①	意見 発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「<u>GGX×TCFDサミット</u>」や「<u>COP28</u>」などの国際会議でサステナブル・ファイナンスの推進に向けて意見発信を実施</li> <li>□ 「<u>サステナブルファイナンス有識者会</u>」などの関係省庁の審議会、検討会へ参画し、意見発信を実施</li> <li>□ 「<u>バーゼル銀行監督委員会気候関連金融リスクタスクフォースのアウトリーチ</u>」などの国際会議で気候変動リスクに関する邦銀の取り組みについて意見発信を実施</li> </ul>
②	人材 育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 会員行に対して、業界別の対応・行動計画や技術的・経済的課題に関するセミナーを開催</li> <li>□ 国内外の参照可能な評価軸・基準等の動向フォローし、先駆的な取り組みに関するセミナーを開催</li> <li>□ 会員行に対して、シナリオ分析の手法やデータ整備に関するセミナーを開催</li> </ul>
③	取組 支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 会員行に対して、「<u>CO2見える化とその先に</u>」など中小企業とのエンゲージメントサポートツールを提供</li> <li>□ 「<u>サステナビリティデータ評価標準化機構</u>」が<u>中小企業の開示データ標準化のハンドブック</u>を公表</li> </ul>

# 人材育成（会員行向けセミナー：全銀協CNI Compass Program）

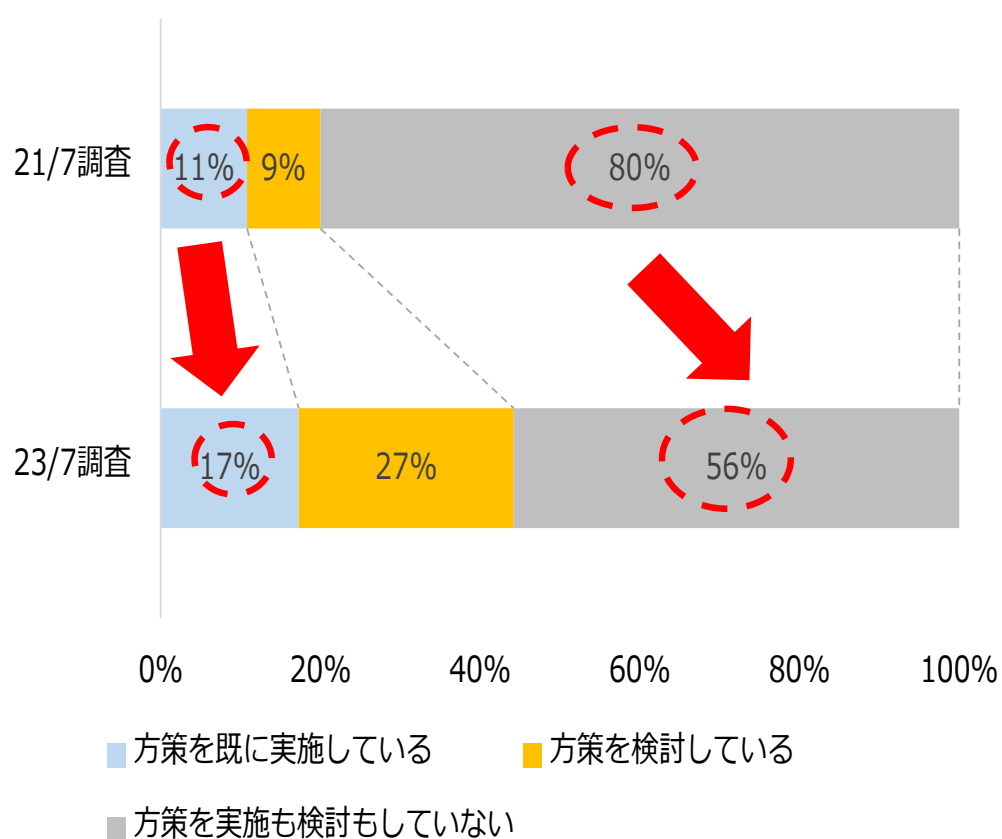
全銀協CNI Compass Programの取り組み（過去25回開催、累計2,900名超が参加）

重点取組分野	一部テーマ
<p>1 エンゲージメントの充実・円滑化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ <u>分野別トランジションロードマップ</u>について</li> <li>□ 「<u>CCS 長期ロードマップ検討会 最終とりまとめ</u>」について</li> </ul>
<p>2 評価軸・基準の整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ <u>PCAF スタンド</u>ードにもとづく金融機関のファイナンスドエミッションの算定と今後の課題について</li> <li>□ 銀行界を巡る国際イニシアティブの最新動向について</li> </ul>
<p>3 サステナブル・ファイナンスの裾野拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ <u>関係省庁</u>におけるカーボンニュートラルの実現に向けた<u>中小企業の取組支援策</u>について</li> <li>□ サステナブルファイナンスの取組みの進捗と課題について</li> </ul>
<p>4 開示の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ <u>IFRSサステナビリティ開示基準の概要</u>、<u>本邦サステナビリティ開示基準の検討状況</u>について</li> <li>□ 自然関連リスクのTNFDフレームワークの理解と実践について</li> </ul>
<p>5 気候変動リスクへの対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ <u>COP28の結果</u>について</li> <li>□ 「<u>金融機関における気候変動への対応についての基本的な考え方</u>」（金融庁）について</li> </ul>

# 取組支援（中小企業向けエンゲージメントツール） 1/2

## 中小企業の脱炭素へ向けた具体的な取り組みこれから

### 中小企業のCNの影響への方策の実施・検討状況



(出典) 商工中金・中小企業のカーボンニュートラルに関する意識調査(2023年7月調査)

## 中小企業向け説明資料「CO2見える化とその先に」

### 取組の必要性

- サプライチェーン全体での脱炭素化の動き。中小企業も間接的に影響を受ける可能性
- 脱炭素に向けた取組みを自分ごとと捉えて、着手していく必要性

### まず取組むこと

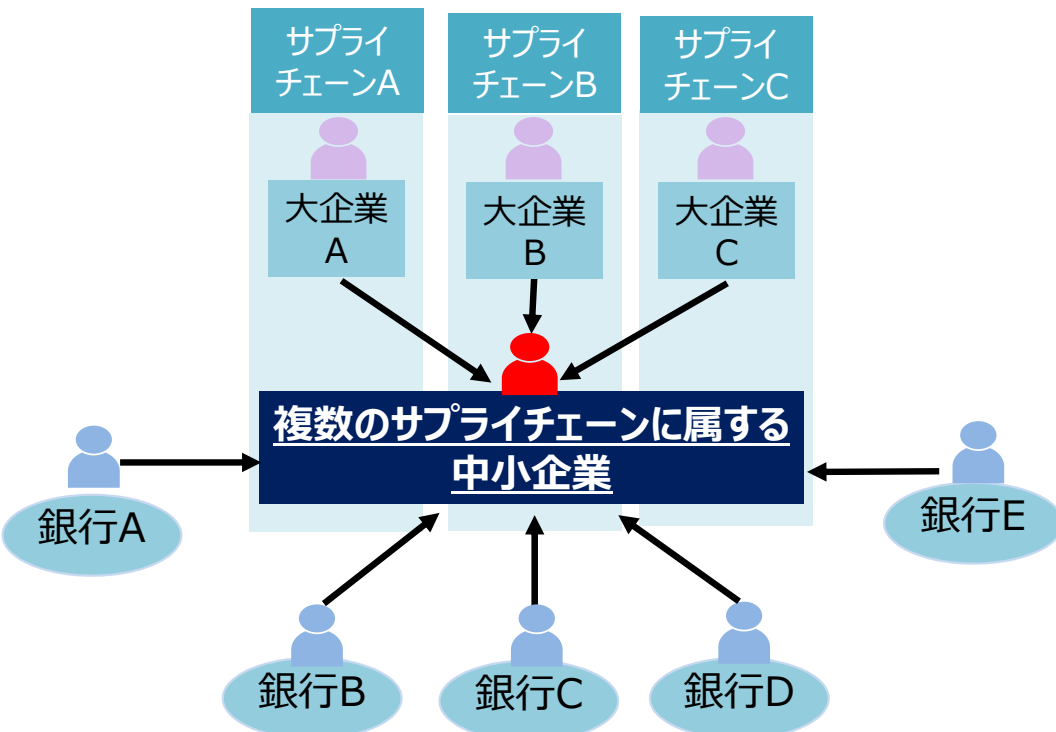
- 中小企業の具体的なアクション
  - ① 現状把握・分析
  - ② 削減対策検討・実施
  - ③ 情報発信

### 取組むことのメリット

- 経営改善（光熱費や燃料費の低減など）
- 取引先へのアピール、除外リスクへの備え
- 国・自治体による補助金制度活用機会の拡大
- 金融機関からの助言や資金調達機会の拡大

# 取組支援（中小企業の開示項目標準化） 2/2

## 現在、中小企業置かれている状況



### 中小企業の痛み

- 商品の納入先企業や取引銀行から、脱炭素への取組み状況について別々に異なる形式で説明を求められることがある
- 今後、中小企業にとって大きな負担となっていく

## 「サステナビリティデータ評価標準化機構」のハンドブック

グローバルベースの  
開示のフレームワーク

各民間金融機関の  
ヒアリング項目（従前）

統合、突合、重複削除

最大公約数としての開示項目（100項目超）

開示のフレームワークと齟齬がなく、  
中小企業で取組可能な項目数に絞込み

先ず開示する7項目（脱炭素の取組み）

エネルギー  
使用量

- 都市ガス
- LPガス
- ガソリン
- 電力

環境目標

- 環境ポリシーの有無
- 環境認証取得の有無
- GHG削減目標の有無

1

カーボンニュートラルの実現に向けた全銀協の取り組み

2

みずほフィナンシャルグループの気候変動対応への取り組み



# 脱炭素社会に実現に向けた〈みずほ〉の取り組み

脱炭素社会実現に向けて必要な取り組み

社会・お客さま

脱炭素を支える基盤づくり

経済・産業の構造転換

新しいテクノロジーの  
実用化

脱炭素のスケール化・裾野拡大

国際連携

国内の波及  
(地域、中堅・中小企業)

官民で連携した資金供給

〈みずほ〉

産業構造転換やテクノロジー実用化など、個別領域での取り組み深化

**取り組みを  
強化**

トランジション資金供給体制確立に注力

官学ネットワークを構築し、意見発信・ルールメイキングに貢献

**強みの発揮**

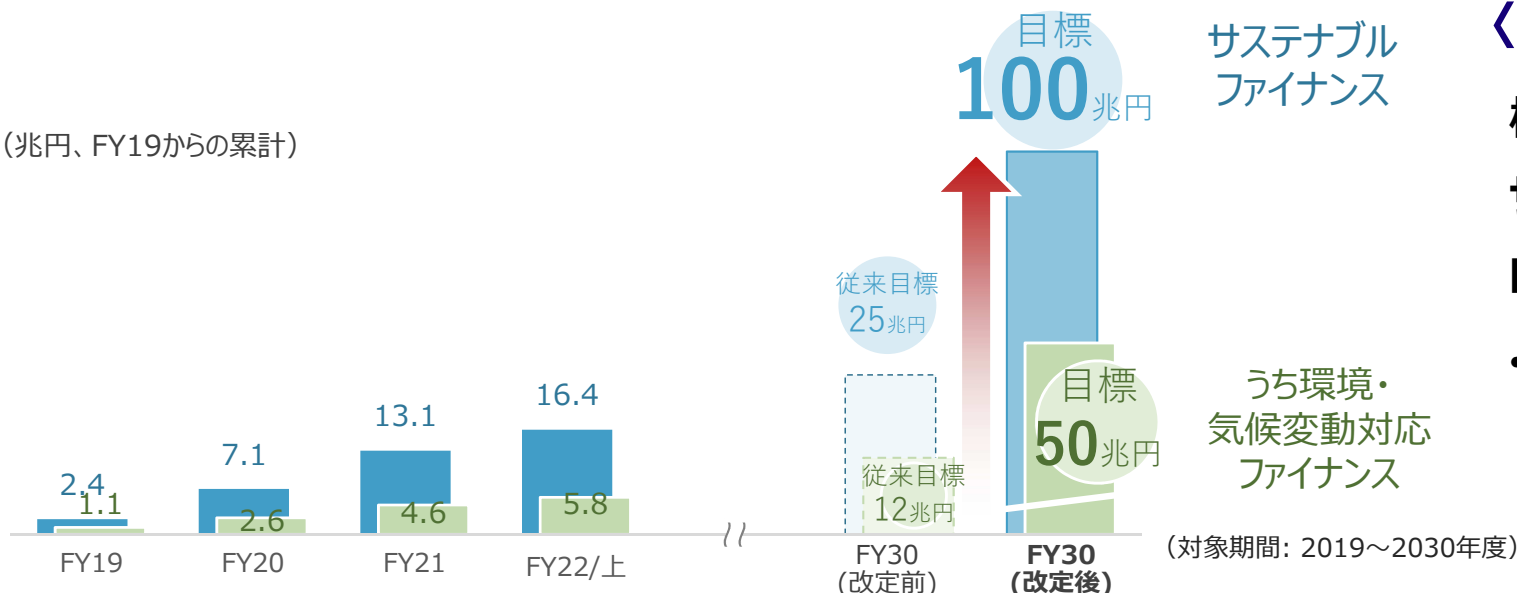
環境・産業知見

人材

顧客基盤

# サステナブルファイナンスの推進

(兆円、FY19からの累計)



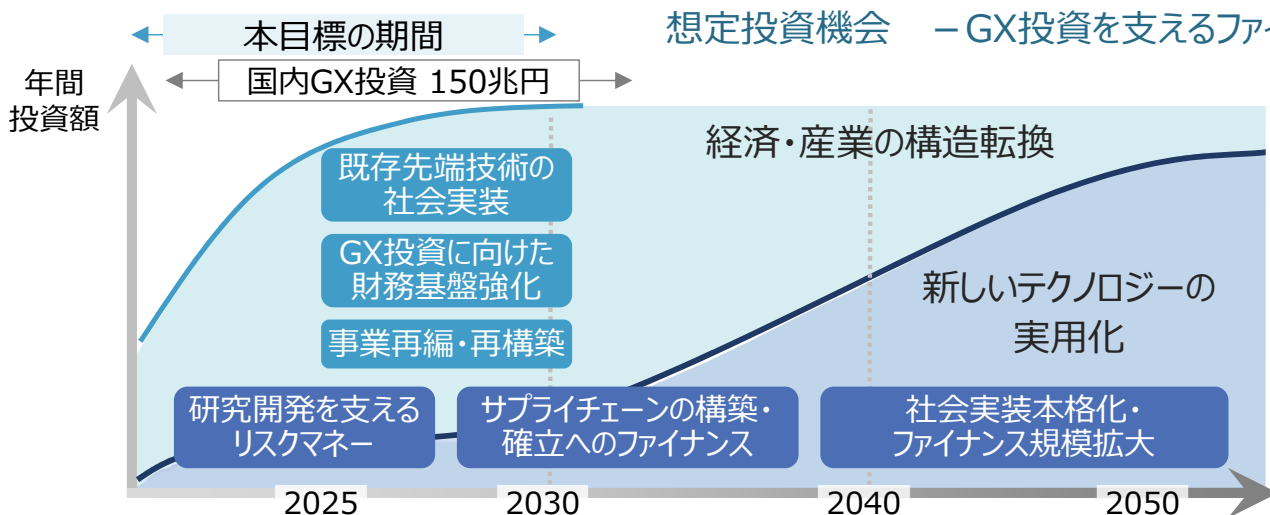
サステナブル  
ファイナンス

## 〈みずほ〉が目指す役割

様々な主体と連携し、  
サステナブルな社会の実現に  
向けた資金の流れを作る

- 脱炭素に向けて、  
ともに挑戦するお客さまに対し、  
トランジションに必要な資金を  
しっかりと提供

うち環境・  
気候変動対応  
ファイナンス



### ■ 脱炭素に向けて必要な投資

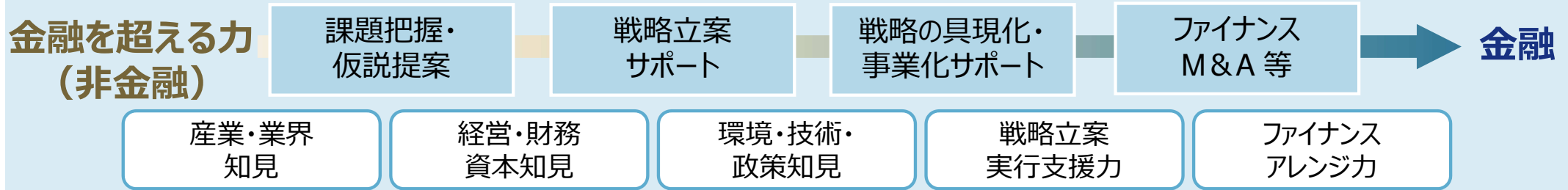
- 日本：今後10年間で150兆円
- グローバル：2030年までに年4兆ドル

### ■ 〈みずほ〉の取り組み

- ・ グリーン・トランジション資金や、テクノロジー実用化に向けたリスクマネーの供給に注力

# エンゲージメントを起点としたソリューション提供

お客様のSX実現をサポートするために課題解決から実行までワンストップで対応



## お客さまとのエンゲージメント

### お客さまのSX支援に向けたエンゲージメント（国内企業）

のべ約1,700社  
(うち気候変動対応  
約1,000社 (FY22) )

事業・財務戦略に関する  
ディスカッション **約800社**

アドバイザー業務の提供 **約400社**

ファイナンスソリューション  
構築・提供 **約500社**

### 責任ある投融資の観点でのエンゲージメント

のべ約1,100社

## 〈みずほ〉の環境技術知見

- 国の調査受託等を含めた永年の環境分野における各種支援を背景とした豊富な技術知見に基づき、先進性のある技術においても高い専門性を発揮

### 先端技術知見の発揮事例

#### 水素

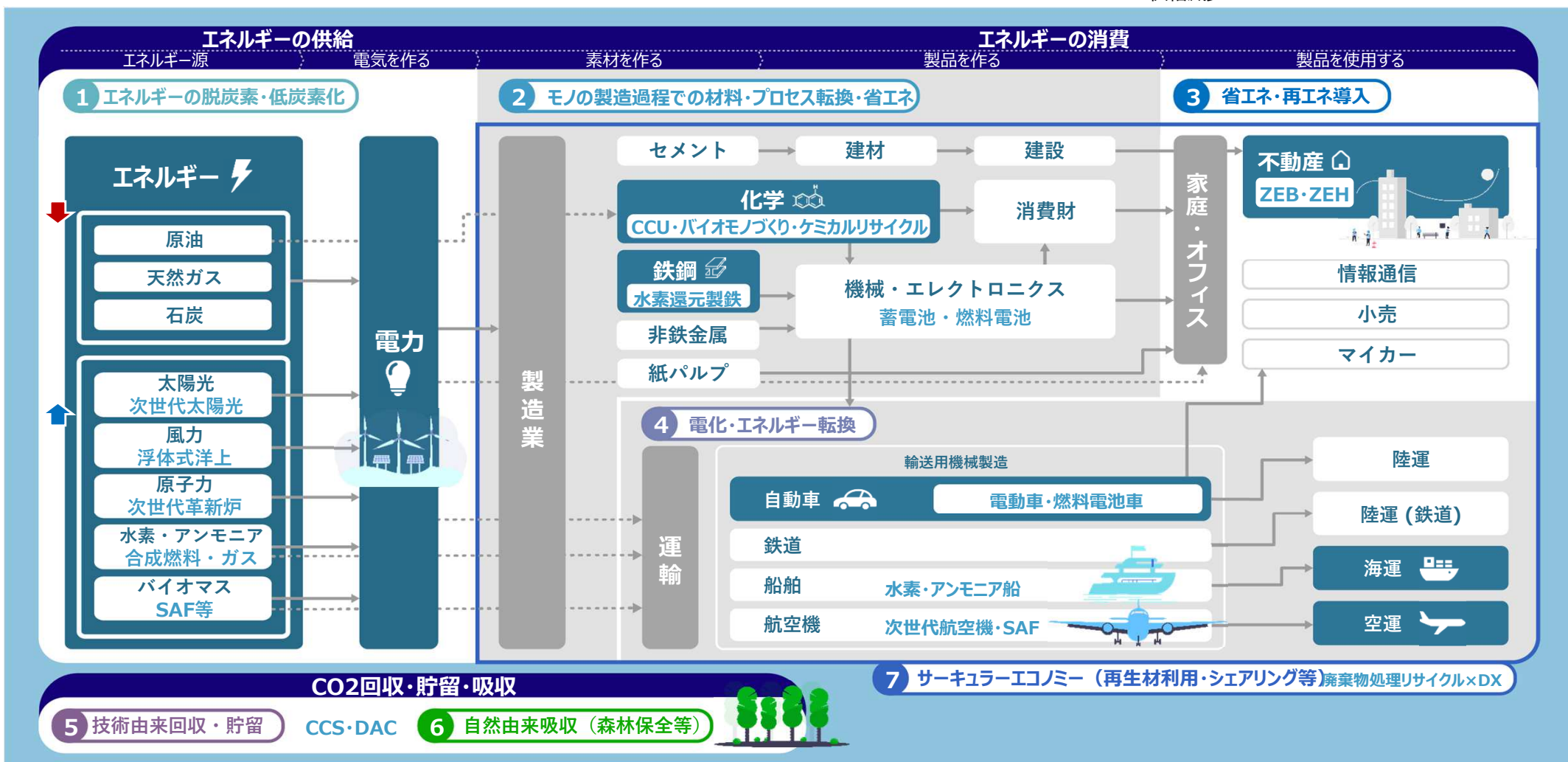
- NEDO\*1事業を民間企業2社と共同受託「国産バイオマスからのCO2ネガティブ水素製造に係るBECCS\*2一貫実証モデルに関する調査」

#### CCUS\*3

- 環境省の環境配慮型CCS\*4実証事業を実施
- CCU\*5の技術開発に取り組む豪州企業MCI Carbon Pty Ltdへの出資

# 経済・産業の構造転換、新しいテクノロジー実用化

凡例： ↑ IEA NZEシナリオにおいて2050年に向けて供給増加 ↓ 供給減少 ■ 注力するセクター 青字：次世代技術



# 産業別の取り組み

## ⚡ 電力関連・石油・ガス

### 電力会社

- トランジション・リンク・ハイブリッド・ローン組成
- トランジション・リンク・ローン組成

### 事業会社

- バーチャルPPA\*1 締結
- 太陽光発電事業を資金用途とするグリーンローン組成

### 自治体

- 風力発電所に対するプロジェクトファイナンス組成

## 🚗 自動車

### 過去最大規模

- ゼロエミッション車の研究開発・投資に対する過去最大規模のグリーンローン組成

### 中国 自動車金融業界初

- サステナビリティ・リンク・シンジケートローン組成

### グローバル

- イギリス：陸上風力発電所プロジェクトへの投資
- フランス：浮体式洋上風力電力のプロジェクトファイナンス組成
- サウジアラビア：世界最大級のグリーンアンモニア施設へのファイナンス組成

## ✈️ 航空

### 本邦初

- 資金用途特定型トランジション・リンク・ローン組成

### 官民連携

### アーリー段階

- SAF\*2の実用化に向けた官民連携・業界横断での取り組み



## イノベーション リスクマネー供給

トランジション出資：22年4月開始、3号案件までクローズ

- バイオものづくりを担う神戸大学発ベンチャー
- 車載用XR\*3の技術開発に取り組むスタートアップ
- CCU\*4の技術開発に取り組むスタートアップ

# 脱炭素のスケール化・裾野拡大

## グローバル大手資産運用会社との戦略的提携

### Decarbonization Partnersとの戦略的関係の構築

BlackRockと Temasekが 共同で設立した、脱炭素プロジェクトに投資するPEファンドと 戦略的パートナーシップを締結し、新たな技術やビジネスモデル創出支援をグローバルベースで強化

## カーボンプレジット市場拡大に向けたパートナーシップ

### CIX（Climate Impact X）への出資

Temasekの脱炭素投資専門子会社であるGenZero、DBS Bank、SGX Group、Standard Chartered の4 社によって設立された、カーボンプレジットのマーケットプレイス・オークション・取引所事業を行うCIXへ出資し、カーボンプレジット市場の開拓を目指す

## 中堅中小企業の脱炭素化に向けた積極的な支援施策を展開

外部パートナーと連携したソリューションネットワークを構築し、中堅・中小企業から大企業まで 幅広くアプローチ

お客さまニーズ・経営課題

〈みずほ〉のソリューションネットワーク





# 意見発信・ルールメイキングへの貢献

## 産業政策に対する意見発信

- 経済産業省におけるエネルギー政策への議論に参画

主催者	参画した委員会等 *1
経済産業省	再生可能エネルギー発電設備の適切な導入及び管理のあり方に関する検討会
経済産業省	産業構造審議会 グリーンイノベーションプロジェクト部会 エネルギー構造転換分野ワーキンググループ
電力広域的 運営推進機関	評議員
資源エネルギー庁	電力・ガス基本政策小委員会

## 国際的なイニシアティブにおける意見発信

- GFANZ (NZBA/NZAM) や PCAF など、脱炭素に向けた国際的なイニシアティブに参加し、意見発信やルールメイキングへの関与を強化

### PCAF Japan coalition 議長としての活動

- 21年7月に本邦金融機関として 初めてPCAFに加盟、11月に PCAF Japan coalition 議長に就任
- 参画機関との議論を経て 2022年度ワークプランを公表
- 本邦PCAF加盟機関における Financed Emissions 計測・開示の共通課題をとりまとめ、官庁やPCAF Global に共有・意見交換実施

## 金融に関する意見発信・ルールメイキングへの関与

- 脱炭素に向けた金融面での議論に参画

主催者	参画した委員会等 *1
内閣府	民間資金等活用事業推進委員会
経済産業省/ 金融庁/環境省	産業のGXに向けた資金供給の在り方に関する研究会
金融庁/経済産業省/ 環境省	トランジションファイナンス環境整備検討会
金融庁/経済産業省/ 環境省	官民でトランジション・ファイナンスを推進するためのファイナンス・エミッションに関するサブワーキング

## 産業・環境知見を活かした意見発信

- 専門知見に基づくインサイトを、タイムリーに発信しています。



23年11月  
Mizuho Sustainability Focus「サステナビリティが拓く日本産業競争力強化への道筋」

\*1 対象：FG/BKが参加



銀行開業  
150周年



一般社団法人

全国銀行協会